

市議会から こんにちは

NO. **17**

平成22年
7月25日 発行
(6月定例会)



〈川治地内〉

◆ゆままにカナディアンカヌーinかわじ

川治温泉を流れる男鹿川と鬼怒川の合流点（通称“ゆまま”）付近でカナディアンカヌーが楽しめます。水面に浮かんで森林浴をしながら、川のせせらぎをBGMにして川治の自然を満喫できます。今年は8月2日(月)から27日(金)までの26日間開催されますので、是非みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

● おもな内容

正副議長あいさつ・臨時会議案審議	2
委員会構成	3
定例会議案審議	4
一般質問	6
意見書	13
議会からのお知らせ	15
議会のおもな動き	16



長梯一議越山

市議会といたしまして、市民の代表としての責任を強く自覚し、議員各位が市民の皆様の思いをしつかり受け止め、その負託に応えられるよう全力で取り組んでまいります。また、市議会をより身近に感じていただくためにも、開かれた議会の実現に向けて議会活性化に取り組んで参る所存であります。

今後とも市民の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年第2回日光市議会臨時会が5月11日に開催され、正副議長の選挙が行われ、議長に山越梯一議員が、副議長に田村耕作議員が選出されました。

その他 臨時会で審議された案件は、執行部提出議案7件、報告1件、選挙3件でした。

市議会からこんにちは／ 2010.7.25 2

委員会構成

各常任委員、議会運営委員、各特別委員等が選任されました。

特別委員会委員名簿

委員会名	委 員
議会活性化対策 調査特別委員会 (定数10名)	◎落 合 美津子
	○野 沢 一 敏
	筒 井 巖
	大 嶋 一 生
	大 門 陽 利
	亀 井 鎮 雄
	加 藤 優
	阿 部 博 美
	平 木 千サ子
	福 田 悦 子
水資源・環境対策 調査特別委員会 (定数10名) (欠員 1 名)	◎齋 藤 文 明
	○齋 藤 正 三
	斎 藤 敏 夫
	塩 生 勇 一
	斎 藤 伸 幸
	生 井 一 郎
	三 好 國 章
	鷹 觜 孝 委
	川 村 寿 利
市街地活性化対策 調査特別委員会 (定数10名)	◎手 塚 雅 己
	○粉 川 昭 一
	和 田 公 伸
	小久保 光 雄
	青 田 兆 史
	竹 澤 英 俊
	佐 藤 和 之
	田 村 耕 作
	山 越 一 治
	加 藤 雄 次
行政調査特別委員会 (議員全員〈議長を除く〉)	◎大 門 陽 利
	○山 越 一 治
予算審査特別委員会 (議員全員〈議長を除く〉)	◎田 村 耕 作 (副議長)
	○小久保 光 雄 (総務常任委員会副委員長)

常任委員会等委員名簿

委員会名	委 員
総務常任委員会 (定数 9 名) (欠員 1 名)	◎生 井 一 郎
	○小久保 光 雄
	和 田 公 伸
	齋 藤 文 明
	大 門 陽 利
	齊 藤 正 三
	阿 部 博 美
	田 村 耕 作
民生環境常任委員会 (定数 7 名)	◎塩 生 勇 一
	○大 嶋 一 生
	斎 藤 敏 夫
	佐 藤 和 之
	平 木 千サ子
	山 越 一 治
	福 田 悦 子
産業観光常任委員会 (定数 7 名)	◎亀 井 鎮 雄
	○筒 井 巖
	三 好 國 章
	鷹 觜 孝 委
	野 沢 一 敏
	川 村 寿 利
	加 藤 雄 次
教育建設水道常任委員会 (定数 7 名)	◎斎 藤 伸 幸
	○青 田 兆 史
	落 合 美津子
	加 藤 優
	竹 澤 英 俊
	粉 川 昭 一
	手 塚 雅 己
議会運営委員会 (定数 9 名)	◎斎 藤 敏 夫
	○鷹 觜 孝 委
	和 田 公 伸
	齋 藤 文 明
	竹 澤 英 俊
	佐 藤 和 之
	生 井 一 郎
	手 塚 雅 己
	山 越 一 治

◎：委員長 ○：副委員長

◎：委員長 ○：副委員長

会派別議員名簿

会派名	委 員	
公 明 党	○落 合 美津子	小久保 光 雄
市民フォーラム 志向	○野 沢 一 敏	齊 藤 正 三
	山 越 一 治	
志民ネット	○粉 川 昭 一	大 嶋 一 生
グループ響	○大 門 陽 利	齋 藤 文 明
	青 田 兆 史	平 木 チサ子
	手 塚 雅 己	鷹 觜 孝 委
	川 村 寿 利	
日 光	○亀 井 鎮 雄	竹 澤 英 俊
	三 好 國 章	
成 和	○佐 藤 和 之	和 田 公 伸
	齋 藤 敏 夫	塩 生 勇 一
	筒 井 一 郎	齋 藤 伸 幸
	生 井 一 郎	阿 部 博 美

無会派	加 藤 優	福 田 悦 子
	加 藤 雄 次	山越梯一（議長）
	田村耕作（副議長）	

※会派届出順

○：代表

広報委員会委員名簿

委員会名	委 員
広報委員会 （定数 10 名）	◎竹 澤 英 俊
	○野 沢 一 敏
	落 合 美津子
	粉 川 昭 一
	川 村 寿 利
	生 井 一 郎
	塩 生 勇 一
	亀 井 鎮 雄
	齋 藤 伸 幸
	齋 藤 敏 夫

◎：委員長 ○：副委員長

議会選出監査委員

齊 藤 正 三

議会選出農業委員会委員

齋 藤 文 明

佐 藤 和 之

第 3 号 情	第 67・68 号 案	第 62・66 号 案	第 56・61 号 案	第 54・55 号 案	第 47・53 号 案	選 挙	第 5 号 告	第 4 号 告	第 3 号 告
森林・林業再生に向けた基本政策の推進に関する陳情	損害賠償の額の決定及び和解について（外1件）	財産の取得について 〔災害対応特殊救急自動車購入事業〕（外4件）	日光市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について（外5件）	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて（外1件）	副市長の選任につき議会の同意を求めることについて（外6件）	日光市農業委員会の委員の推薦（外1件）	日光市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙	平成21年度（2009年度）日光市水道事業会計予算繰越計算書について	市長の専決処分事項の報告について 〔損害賠償の額の決定及び和解〕
採 択	原案可決	原案可決	原案可決	原案適任	原案同意	議長指名	議長指名	報 告	報 告

第3回定例会で審議された議案と結果

平成22年第3回日光市議会定例会が6月8日から6月23日まで、16日間の会期で開催されました。今定例会で審議された案件は、執行部提出議案26件、議員議案3件、陳情3件、報告3件、選挙1件でした。
なお、一般質問は6月17日、18日の2日間にわたり、11名の議員が24項目について行いました。



教えて！議会のハテナ？？



ここでは、議会で使用されている用語等を解説していきます。今回は「特別委員会」について説明をします。

特別委員会は、常任委員会と異なり特定の事件（二つ以上の常任委員会にまたがる事件、政治的に必要がある事件、特別の法的な権限に基づくもの）について設置されるもので、その事件の審査や調査が終了したときに消滅します。

当市では、4つの特別委員会が設置され、新たな観点から総合的かつ専門的に審査していきます。その他予算、決算を審査するための特別委員会が設置されます。

名称	定数	設置目的
議会活性化対策調査特別委員会	10名	市民の意思を的確に吸収し、市民の視点に立った議会運営の活性化及び議員の意識改革に取り組み、地方分権時代に即した市民に身近な開かれた議会に向け調査・研究を行う。
水資源・環境対策調査特別委員会	10名	水資源・環境に対するさまざまな課題を的確にとらえ、水源地域等の活性化を図り、自然と共生する社会の実現に向けた調査・研究を行う。
市街地活性化対策調査特別委員会	10名	魅力ある地域資源の活用等により、市街地の活性化を推進するとともに、地域経済の活性化に向けた多方面からの調査・研究を行う。
行政調査特別委員会	29名 (議長を除く)	地方分権時代に即した住民サービスの向上と広範囲な市民のニーズに対応するまちづくり推進に向けた調査・研究を行う。

第11 議員 議案 号	第10 議員 議案 号	第9 議員 議案 号						第72 議案 号	第71 議案 号	第70 議案 号	第69 議案 号	第5 陳情 号	第4 陳情 号
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書の提出について	農業農村整備事業に係る予算措置を求める意見書の提出について	森林・林業再生に向けた基本政策の推進に関する意見書の提出について	市街地活性化対策調査特別委員会の設置について	水資源・環境対策調査特別委員会の設置について	議会活性化対策調査特別委員会の設置について	行政調査特別委員会の設置について	予算審査特別委員会の設置について	工事請負契約の変更について「湯西川地区ふれあいの郷整備事業 共同浴場・地場産加工販売施設建築工事」	工事請負契約の締結について「(仮)日光市ホッケー場整備事業 グラウンド整備工事」	日光市父子手当条例を廃止する条例の制定について	固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める陳情	農業農村整備事業予算に係る対応について
原案可決	原案可決	原案可決	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	継続調査	原案可決	原案可決	原案可決	原案同意	採択	採択

6月 定例会



(子ども連れ傍聴時の託児室の様子)

一般質問

子宮頸がんワクチン接種 について

阿部博美議員(成和)

問：ワクチン接種の方法については、各自が病院へ行く「個別接種」となっているが、3回の接種が必要で、その都度、保護者が、付き添うことは大きな負担となる。また、デリケートな問題でもあり、父子家庭などにおいては、対応が難しい場合も考えられる。接種率向上や利用者の負担軽減を図るため、「集団接種」を今後、導入する考えはあるか。

答(斎藤市長)：接種者本人が、医師との相談により、予防効果や副作用などを充分に理解した上で接種することが望ましいことから、医療機関での「個別接種」とした。人数が多い場合の集団接種では、医師の問診が充分に行えないことも懸念されるが、接種率の向上や保護者負担の軽減という

こともあり、集団接種を実施している他市の状況などを見ながら、今後、検討したい。

問：今回、対象者(小学六年生から中学三年生までの女子)とならない、高校生以上の方に対して、助成する考えは無いのか。



答(斎藤市長)：十代前半の接種がより効果的とされること、また、日本産科婦人科学会などの11歳から14歳までの女子に対する接種を優先すべきとの提言を踏まえ設定した。

今後、ワクチン接種希望者の動向や地元医師会の意見、更には現在、国の厚生科学審

議会等において、子宮頸がんワクチンを定期接種にするかどうか検討しており、その内容を踏まえた上で対応を検討したい。

問：この度の接種を契機に、「がんやワクチン」について説明をし、どうすれば「がん」を予防できるのか、性教育と併せて、啓発することが重要と考えるが、いかがか。

答（斎藤市長）：健康教室や学校現場での教育として、研修会等を計画したい。

（そのほかの質問）

○教育環境の充実について

子育て支援について

小久保光雄議員（公明党）

問：当市では、第2子以降の新生児を育てる保護者の方を対象に、平成20年度から「日光市・新生児紙おむつ支給事業」を実施したが、紙おむつしか交換できなかったため、本年度から「すすく赤ちゃん券」と名称を変え、より利便性の高い制度に改善し、実施して

いる。しかし、18歳以上の兄弟姉妹を持つ第2子以降の乳幼児においては、対象外となるなど未だ不十分と言わざるを得ない。長引く不況の中、経済的負担は、厳しい状況にあり、更に進めて、事業対象児を、第1子まで拡大できないか。



育児に必要な不可欠な紙おむつ

答（斎藤市長）

：平成20年度から多子世帯の子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第2子以降の新生児を養育する保護者の方に「新生児紙おむつ支給事業」として、取り組んできた。しかし、この制度では、紙おむつとの交換しきれず、布おむつを利用する方には対応できなかった。

そういうことから、多様な

ニーズに柔軟に対応した子育て支援を推進するため、平成22年度から、紙おむつのみではなく、おむつ関連用品、粉ミルクなどの授乳関連用品とも交換ができるよう対象品目を拡大し名称も「すすく赤ちゃん券」と改めた。提案の第1子への拡充を実施するに、約800万円の市の負担増が見込まれる。しかし、急速に少子化が進む中、当市の人口減少の半数近くを子供の減少が占めているという現実を考えると、少子化対策は喫緊の課題であり、子育て家庭への経済的負担を軽減し、子供を産み育てやすい環境を充実するため、第1子への拡充について、来年度の実施に向け前向きに検討する。

（そのほかの質問）

○障がい者支援について

市長の政治姿勢「小児入院施設の整備について」

福田悦子議員（無会派）

問：市長はこの度の公約に「小

児入院施設の整備について」を掲げ、全力で取り組むとしているが、市内には小児の外來診察を受け付ける病院はあるが、小児科の入院施設は皆無で、入院治療を要する子供たちは、市外の病院に入院している現状が続いている。市長は、独協医科大学日光医療センターに対して、産科や小児科の設置を引き続き要請するとしているが、小児入院施設整備は喫緊の課題であり、今後の整備計画について伺う。



答（斎藤市長）

：独協医科大学では、将来的に体制が整えば、地元要望の強い小児科、産婦人科及び神経内科等の増設を考慮するとしており、当市としても、強く要望している。

大学からの回答は、経営の黒字への転換、大学からの医師派遣、建物の建て替えなどの条件がクリアされないと、開設は難しいというものだった。しかし、これら厳しい状況でも、当該センターでは、神経内科が既に開設され、今年になってからは、形成外科等が開設されており、小児科についても、今後、入院患者の受け入れ体制も含め、引き続き設置に向けた要望をしていく。

問：市長はこの問題について、「何らかの支援が必要」と言ってきたが、その後の対応はどうなっているのか。

答（斎藤市長）：今後、長期的な視点に立って対応したい。（仮）地域医療整備基金を設ける等、制度設計をすべく、その作業に取り掛かったところである。

（そのほかの質問）

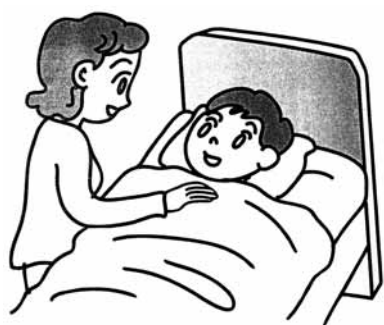
○住宅リフォーム助成制度導入について

○不登校児童・生徒支援策について

ファミリースポーツセンター事業について

平木チサ子議員（グループ響）

問：国が県内でただ一箇所指定し、宇都宮市で「病児預かり対応基盤整備事業」で行われていた「病児緊急預かり事業」は、子供が保育園等で熱を出した時など、親が対応できない場合、代わりに応援会員が保育園から病院に連れて行ってくれるところまでやるという共働きや一人親家庭にとって非常にありがたい制度である。来年度からは各自治体へ移行され、その受け皿としてファミリースポーツセンターが挙げられているが、市では病児の子供への対応を今後どのようにしていくつもりか。



答（斎藤市長）

：現在、ファミリースポーツセンターでは、軽度の病児等により学校・保育園に行けないお子さんを協力会員の家で預かる事業を実施しており、平成21年度においては8件の利用があった。

また、病状が軽度でない時は、宇都宮市のNPO法人が実施している「緊急サポートネットワーク事業」を紹介している。この事業は、病児や回復期にある子供の預かりや、急な出張等で宿泊を伴う預かりなどの援助を受けた方と、援助できる看護師・子育て経験者等が会員となり、緊急的な育児に対応する県内で唯一の会員組織の事業である。

当市としても円滑な移行を図るため、実施体制について、受託者と検討を行うとともに、受託者においても、県が実施する「保育サポート養成研修会」への参加を予定するなど、準備を進めている。

（そのほかの質問）

○高齢者施策について

急激な人口減少、このままで良いのか！

野沢一敏議員（市民フォーラム志向）

問：人口減少対策としての子育て支援策について伺う。

答（斎藤市長）

：「日光市子ども未来かがやきプラン」を策定し、今後、5年間取り組むべき各種の子育て支援策と具体的な達成目標を定め、各種施策を推進していく。子育て支援策では、子宮頸がん等ワクチン接種の助成、新生児に対する「すくすく赤ちゃん券」の支給、こども医療費の助成拡大等、独自施策を充実させることが、子育てにやさしい市として魅力を高めることになる。雇用情勢や価値観の多様化等、少子化の流れを変え、更には子育てしやすい環境を整備していく。

問：人口減少対策としての若者の定住促進策・支援策について伺う。

答（斎藤市長）

：子育てに必要なニーズを的確にとらえ、常に新たな取り組みを続けるこ

とが必要と考える。また、雇用・就労機会の確保も重要な要素であり、離職者の受け入れを進める事業者に対する支援や空き店舗を生かした中心市街地のにぎわい創出事業による雇用や就労機会の確保に努めていく。

また、企業誘致の促進、市内製造業等の育成・支援及び観光振興並びに地場産業の振興を図っていく。

その他、市内の住宅新築に対する助成については、相応の財政負担を伴うものの、今後、各部門の施策の中で検討していく。



(そのほかの質問)

○日光市における人口減少の動向について

地上デジタル放送対策について

落合美津子議員（公明党）

問：地上デジタル放送完全移行まで一年を残すところとなり、多くの市民の不安解消に向けて、議会が一丸となって国に対して要望活動を行ってきた。

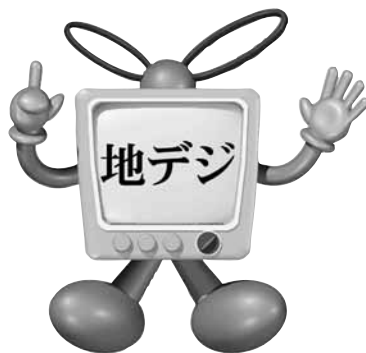
そこで、国はこれまで中継局の増設はしないという続けられてきたが、要望活動のいいかげんか、この度、中継局を県内11箇所増やす計画を立てている。この新たに設置される中継局の中で当市の難視改善に役立つ中継局はあるのか。

答（斎藤市長）：当市において

地上デジタル放送の受信が困難となる「新たな難視地区」に定義される世帯数は、現在約2,000世帯あり、その内、約1,500世帯が、この新しく設置される3つの中継局により、地上デジタル放送が受診可能となる見込みである。しかし、未だ解決手法が確立されていない「新たな難視地区」が存在するので、今後とも国及び放送事業者と積極

的に働きかけを行っていく。

問：総務省の事業でもあり最後まで国が完全移行に向け取り組みべきであるが、市内全世帯の完全移行、早期実現に向けた本年度の市の取り組みについて伺う。



答（斎藤市長）：「新たな難視地区」対策に加え、共聴施設

による視聴等も含めた放送対応を、今後も継続して共聴組合、国、県、放送事業者と連携して着実に進める。また今年度は自主共聴施設のデジタル化対応費用助成のため、昨年度より約1億円を増額し、30組合分、1億6千万円余を計上した。今後さらに、市民の不安を解消し、スムーズな移行ができるよう、それぞれ

の状況に応じた対応方法を周知するパンフレットを作成し、全戸配布する。

(そのほかの質問)

○若者就労支援対策について
○奨学金制度の見直しについて

デマンド交通について

加藤優議員（無会派）

問：市はこれまで利便性向上に向け、市営バス運行について見直しを行ってきたが、公益性も重要だが、効率性にもっと配慮すべきだと思う。その方法の一つが、デマンド交通システムであり、県内でも既に12市町が導入している。利便性、効率性ともに優れるこのシステムの導入について、どう考えているのか。

答（市民環境部長）：先に策定

した「日光市生活交通再構築計画」は、主に市営バスを対象に再検証したもので、市民にとって利便性の高い、地域の実情にあった市営バスの路線や運行形態の実現に向けた施策を実施するための計画で

ある。この中で、①従来のバスで運行する路線、②デマンド交通システムにより運行する路線、③利用者が少なく、多額の運行経費が掛かるため廃止を検討せざるを得ない路線等、個別に検証し、方向性を出している。今後はこの計画に基づき見直しを進めたい。特に、デマンド交通システムは、公共交通空白地区等の住民にとって、利便性の向上を図る上で、有効なシステムと考えており、今後、経費を含め、運営形態、ルート等、地域の実情にあったシステムを構築すべく十分に研究を重ね、導入を検討していきたい。



中心市街地を走る市営バス

問：現状の路線バス方式ではなく必要な時に必要なだけ利用できるデマンド交通は有効なシステムであると考えます。今後、研究を重ね、導入を検討していくとのことですが、具体的にどうするのか。

答（市民環境部長）：路線の再編については今年度着手したい。デマンド化については、研究を進め、できれば平成23年度には実証運行をしたい。（そのほかの質問）

○日光市総合計画について
○補助金のあり方について

奥日光の自然環境

三好國章議員（日光）

問：湯ノ湖の浄化には、コカナダモの除去以外に方法は無いのか。

答（斎藤市長）：市では湯元水処理センターにおいて、富栄養化の主な要因であるリンを除去するとともに、窒素についても今年度から試験調査を行い、成果を検証した後、制御システムの導入を図る等、

水質向上に努めたい。

コカナダモの除去については、県が主体となって実施している3日間の機械刈り取りに加え、市が実施する試験刈り取りを2日間行い、計5日間実施して除去に努める。併せてコカナダモの切れ藻対策として、流出防止フェンスの設置等についても協議をしていく。今後ともコカナダモの除去だけでなく、保全対策について県とも協議をしながら推し進めていく。

問：赤沼から光徳牧場（入り口）までの国道121号線はいつ整備されたのか。また、この道路が戦場ヶ原湿原に与える悪影響をどう認識しているのか。

答（斎藤市長）：国道の整備時期について、県の日光土木事務所に確認したところ、「詳細な整備年次は不明」とのことであった。第一いろは坂整備等が昭和29年であることを考えると、昭和30年代中頃と考えられる。また、影響については、「30年前と比較すれば地下水位低下など局所的な変化はあるものの、全体とし

ての乾燥化傾向は見られない」と環境省から報告を受けているが、国道があることによる自然環境への影響は明らかではない。



湯ノ湖全景

問：逆川さかさがわの水は戦場ヶ原に流入し、湿原を潤してきた。現在、地域で農業用水として利用しているが、湿原保護のため、利用規制をすることはできないか。

答（斎藤市長）：地域の農業を支える重要な用水として利用されている。利用については、慣行水利権も認められており、規制することは難しく、他に湿原保護を目的として規制する法律も見当たらない。

地域別観光資源の整備とPRについて

川村寿利議員（グループ響）

問：豊田から大桑間の日光杉並木沿いに遊歩道を設置して観光資源として活用する計画はあるのか。もし無ければ、この貴重な観光資源をどう活用するつもりか、また、無くなってしまった二重並木の説明板はいつ頃設置できるのか。



中岩公園（今市地域）

答（阿部副市長）：並木を歩く

遊歩道は、瀬川地内の日光杉並木公園等に設置しており、ご指摘の倉ヶ崎から一本杉に至る箇所には設置する計画は無い。これは文化財保護法に基づく管理計画により、樹根

保護の観点から当該並木敷内に設置することが困難なためである。しかし、ここは当市の観光資源の一つであり二重並木や大桑杉並木鑑賞公園等の観光スポットもあるのでホームページ等で引き続きPRに努めていく。また、二重並木の説明板は、日光東照宮で設置したもののだが、貴重な文化財を広く紹介するためにも、再設置を働きかけていきたい。

問：栗原地区の中岩公園に「大正天皇御手植の松」の史跡がある。その維持管理とPRについて。また、同様の史跡等の維持管理とPRについても伺う。

答（阿部副市長）：現在、公園全体の維持管理のため、定期的な草刈及び松くい虫防除など、松を中心に管理を実施しているが、公園の改修計画もなく、観光施設としてのPRも特にしていない。

また、他地域の史跡の観光PRについては、平成20年度に日光市内の文化財指定を受けている名所・旧跡を「日光

市文化財マップ」としてまとめ紹介しているが、今後さらに詳細な調査を行ない、平成23年度に改めて文化財マップを作成・公開し、観光資源として活用できるものは、観光協会等へ情報提供し、PRに供したい。

財政健全化計画について

手塚雅己議員（グループ響）

問：財政調整基金と債務残高について、現状認識と今後の推移目標について伺う。

答（総務部長）：平成20年度末における基金残高は約39億2千万円と、財政健全化計画額を約10億円上回る金額であり、歳入確保と経費節減など財政健全化に向け体質改善に取り組んだ結果ととらえている。

また、市債残高は平成20年度末現在、約462億9千万円で、うち合併特例債は約79億4千万円となっている。

平成19年度・20年度は減少したが、平成21年度・22年度は、地方財政対策に基づく臨

時財政対策債の発行増により、増加が見込まれる。

今後は、元利償還金に対して普通交付税措置のある市債を優先して発行し、健全財政の確保に努めたい。



問：策定から2年が経過し、現状から大きく乖離している財政健全化計画の見直し・変更について伺う。

答（総務部長）：現在の計画は、

平成23年度までとしているが、市税を取り巻く環境も厳しく、市財政に大きな影響を及ぼす国の地方財政制度の変更が予想される。そのため、平成24年度以降も引き続き健全財政に向けた取り組みが必要と考えている。今年度から策定する市総合計画・後期基本計画

との整合性も配慮しながら次期財政健全化計画の策定準備を進めたい。

問：標準財政規模に立脚した身の丈にあった財政運営をするべきだと思うがどう考えるか。

答（総務部長）：税と地方交付税等を加算した標準財政規模は、当市の場合230億円程度だと思う。こうした一般財源を重視した財政運営姿勢は基本であり必要だと思う。

（そのほかの質問）

○高齢化社会における市民生活への対応について

○職員定員適正化計画について

口蹄疫への対策について

齋藤文明議員（グループ響）

問：口蹄疫防止対策を進めるにあたり、畜産農家の現状をどのようにとらえ、予防策をどう考えているのか。

答（産業部長）：畜産農家の方々は、口蹄疫の侵入に関して不安を持っており、各自が農場への出入口等の消毒や部外者の立ち入り制限をしてい

る。

市内では、4月下旬以降、市・農協等関係機関と畜産農家で組織する「日光市家畜自衛防疫推進協議会」から、口蹄疫侵入防止対策資料や消毒薬を、また、5月下旬には酪農組合から消石灰、県からは消毒薬50kgを組合員等に配付した。

問：市独自の行動計画の策定状況について伺う。

答（産業部長）：畜産農家の代表と関係機関で組織する「日光市口蹄疫対策会議」をいち早く開催し取り組むとともに連携・強化について再確認した。また、要望を踏まえて消石灰100kgを牛豚等の飼育農家全戸に配付した。畜産農家では、他人の出入りに関して神経質になっているため、職員には、畜産農家に出入りする際、十分に配慮するよう徹底した。

問：消毒液散布用噴霧器の不足など心配されるが、今後の対応はどう考えているのか。

答（産業部長）：今後の状況によつては、市口蹄疫対策会議

で協議の上、消毒薬等の配付や発生を防ぐため、移動車両等の消毒や関係者以外の立ち入り制限等、引き続き指導をしていく。



問：各農場に対応マニュアル等を表示したポスターや看板等を配付し、地域全体への周知も必要ではないか。併せて季節に対応した消毒薬の配付はできないか。

答（産業部長）：農場入り口等に掲示できるような啓発看板やチラシ等を各畜産農家等に配付したい。また、消毒薬の配付については、口蹄疫対策会議で協議の上、対応していきたい。

○市道の管理について

平成22年9月 日光市議会定例会会期日程予定

【会期 9月1日（水）～9月29日（水） 29日間】

月／日	曜日	会期日程	備 考	月／日	曜日	会期日程	備 考
9／1	水	本 会 議	（開会）上程・説明	9／14	火	本 会 議	一般質問
3	金	本 会 議	委員会付託	15	水	本 会 議	一般質問予備日
7	火	付 託 委 員 会		17	金	決算審査特別委員会	
8	水	付 託 委 員 会		21	火	決算審査特別委員会	
10	金	本 会 議	採決	22	水	決算審査特別委員会	
13	月	本 会 議	一般質問	29	水	決算審査特別委員会・本会議	（閉会）

※ この日程はあくまでも予定であり、日程が変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。 ■問合せ先 ■ 0288-21-5140（議会事務局直通）

■ 森林・林業再生に向けた基本政策の推進に関する意見書

〈提出先〉

農林水産大臣・林野庁長官

■ 主な内容 ■

地球温暖化が深刻な環境問題となる中で、環境資源としての森林の役割に強い期待が寄せられています。

一方、地域の林業は、路網整備や施業の集約化の遅れなどから生産性が低い状況にあり、また木材価格が長期低迷する中で、森林所有者の経営意欲も極度に低下するなど、適切な森林の育成・整備等が停滞する現状にあります。

こうした状況下において、森林整備の推進、森林所有者の森林経営意欲を創出するための施策の推進はもとより、民間による整備が困難な水源林等公益森林の整備に対する公的機関の強化、さらには森林・林業の担い手のいる山村の再生に向けた積極的な取り組みが極めて必要であります。

当市議会としては、国において森林吸収源対策の推進はもとより、特に、国有林野事業等において、安全で安心できる国民の暮らしを守るために、重要な役割を果たす水源林等公益森林の整備、さらには、地域林業・木材産業の振興を通じた山村の活性化に十全に寄与できるよう、意見書を提出しました。

■ 農業農村整備事業に係る予算措置を求める意見書

〈提出先〉

内閣総理大臣・財務大臣・農林水産大臣

■ 主な内容 ■

わが国の農業・農村は担い手不足が懸念される一方で、食料自給力の向上のため、生産性の向上と水田の汎用化に資するとともに、担い手への農地利用集積に効果的な圃場整備は、いまだ4割程度が未整備であり、農業用水利施設についても、今後10余年間は耐用年数に到達する施設のピークが続く状況にあります。

しかしながら、農業農村整備事業予算は、公共事業の削減の流れなどの中で暫減し、平成22年度予算については大変厳しいものとなっています。

食料生産を支える農地基盤や水利施設の劣化・老朽化を放置すれば、農家の営農意欲が減退するばかりか、農業そのものが成り立たなくなる恐れがあります。また、国の食料安全保障をも損ねることになり、国民全体の不利益につながると危惧しています。

当市議会としては、国において限られてた国内農地資源の最大活用を図り、食料自給力を向上させるため、農業農村整備事業を適正に執行するよう意見書を提出しました。

せきすいえき

■ 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

〈提出先〉

内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣

■ 主な内容 ■

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等、身体への強い衝撃により、脳脊髄液が漏れ減少することによって発生し、頭痛、めまい、耳鳴り等多種多様な症状があらわれるのが特徴です。しかしその治療法であるブラッドパッチ療法については、いまだ医療保険の適用対象外であり、また、治療を実施している医療機関も少なく、患者や家族にとって経済的・精神的に大きな負担となっています。

国では、これまで脳脊髄液減少症の診断・治療確立に関する研究を行ってきましたが、診断基準を示す基礎データの症例数が必要数に達していないことから研究期間が延長されることとなりました。

当市議会としては、国において脳脊髄液減少症の診断及び治療の確立を早期に実現されるよう意見書を提出しました。

平成21年 行政視察受入状況 (平成21年1月～12月)

日光市には、多くの自治体の方が訪れています。

月	来訪議会名	視察内容	人数
1	千葉県成田市議会	・日光市クリーンセンターについて	11
	沖縄県名護市議会	・小中一貫教育特区について	9
2	千葉県富里市議会	・日光市クリーンセンターについて	14
4	長崎県長崎市議会	・世界遺産登録に向けた取り組みについて ・未収金対策について ・まちづくり基本条例について	8
5	千葉県君津市議会	・小中一貫教育について	10
	福岡県前原市議会	・議会運営について	10
	香川県観音寺市議会	・日光暮らしについて ・個性ある地域振興事業について ・高齢化集落対策について	7
	熊本県天草市議会	・議会運営について	11
	北海道室蘭市議会	・小中一貫教育について	3
6	千葉県銚子市議会	・鬼怒川・川治温泉観光協会の運営について	6
	愛媛県新居浜市議会	・産業遺産保存活用について ・電子入札について	9
7	群馬県草津町議会	・日光市景観条例について	16
	宮崎県都城市議会	・日光市農業農村男女共同参画ビジョン	7
	千葉県富里市議会	・日光市クリーンセンターについて	5
	岩手県八幡平市議会	・奥日光の自然保護について ・足尾銅山の公害対策について	9
10	茨城県坂東市議会	・合併後の当市のあり方について ・議員定数について ・倫理条例等の制定について	12
	長野県飯山市議会	・日光市における農業振興対策について ・地産地消推進計画の取り組みについて	11
	熊本県宇土市議会	・議会運営全般について	8
	長崎県大村市議会	・学校給食費滞納対策について	8
	福島県川俣町議会	・地産地消の推進について	7
	宮崎県宮崎市議会	・観光振興について ・観光拠点整備事業について ・鬼怒川温泉における再生の取り組みについて	13
	東京都墨田区議会	・観光交流プロジェクトについて ・働く場創出プロジェクトについて	6
	千葉県山武市議会	・議会改革について ・子育て支援について ・少子化対策について	18
	岡山県津山市議会	・議会改革について ・クリーンセンターについて	2
	大阪府大阪市議会	・日光市まちづくり基本条例について	4
11	和歌山県田辺市議会	・働く場創出プロジェクトについて ・日光観光圏整備計画について	10
	長崎県長崎市議会	・観光施策の取り組みについて	2
	島根県出雲市議会	・観光施策について	10
	兵庫県三田市議会	・農業農村男女共同参画ビジョンについて	2
	大阪府箕面市議会	・日光市サル餌付け禁止条例の施行の現状について	8
12	山形県山形市議会	・企業誘致・産業振興の取り組みについて	4
	群馬県明和町議会	・議会運営について	6

議会ライブ放映

議会本会議のライブ映像を市役所本庁舎2階市民ホール及び各総合支所で放映しています。

次回の定例会は9月1日から開催される予定ですので、是非ご覧ください。



■ 平成21年本会議傍聴者数 ■

区分	傍聴者数	子供連れ傍聴者数	傍聴者合計	託児施設利用乳幼児者数
第1回(2月)定例会	121	3	124	4
第2回(5月)臨時会	1		1	
第3回(6月)定例会	83	6	89	6
第4回(9月)定例会	77	5	82	6
第5回(11月)臨時会	2		2	
第6回(12月)定例会	85	9	94	13
計	369	23	392	29

お子さんを連れて議会を傍聴してみませんか

育児で忙しい方にも傍聴できるよう託児機能を整備しました。

一般質問では、医療や教育といった子育て世代の方にもかかわりが深い、身近な問題について話し合いが行われています。

傍聴を希望する方は、8月30日以降、議会ホームページにて一般質問日程及び質問事項を公開しますのでご確認のうえ、申し込んでください。

■申し込み期限…

一般質問傍聴希望日の5日前

■申し込み手続き…

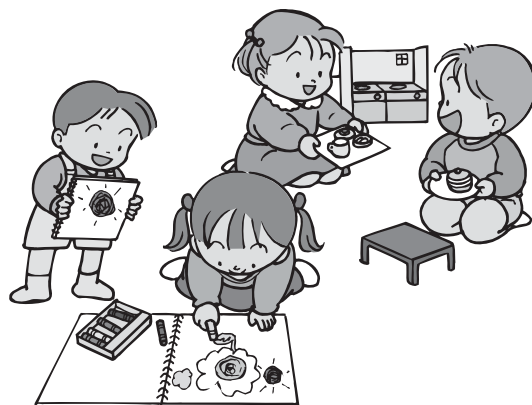
傍聴を希望する方は、傍聴日・傍聴したい議員名・住所・氏名・幼児年齢・電話番号等を電話、FAX、メール等でお知らせください。

■申し込み先…

日光市議会事務局 TEL 0288-21-5140

FAX 0288-21-5141

メールアドレス gijika@city.nikko.lg.jp



※一般傍聴についても随時受け付けておりますので、是非お越しください。

編集後記

4月に議員の改選が行われ広報委員のメンバーも新しくなりました。

広報委員一同、読みやすく市民に親しまれる広報紙づくりに取り組んでまいります。ご意見等がありましたら広報委員又は議会事務局までご連絡をお願いいたします。

さて、24節気というものがあります。古代中国でつくられた節気区分法で立春から翌年の立春までの1年間で24等分し節気をきめて、気候の推移を知らしめるようにしたものといわれています。古来から日本人は穀物を育てて定住文化を築きあげてきました。中国生まれの24節気を取り入れ種を蒔き、植え付けをしてきました。しかし、近年は技術の進歩に加え温暖化の影響が、作期が早まってきていますが、今でも日常語として節気は用いられています。7月の節気は7日が小暑、23日が大暑にあたります。夏至を過ぎると日長は徐々に詰まってくる反面、暑さは8月の立秋過ぎまで続きます。うっかりすると夏ばてを起しがちですが、今の時期に限ったことではないようです。暑さが過ぎ去るから夏ばてがくることもあるようですので、体調管理には十分注意をして暑さをのりきっていききたいものです。(H・T)

議会のおもな動き

(4月～6月)

総務常任委員会

- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月3日
○今後の進め方について
- ▶ 6月14日
○付託議案審査

民生環境常任委員会

- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月3日
○今後の進め方について
- ▶ 6月14日
○付託議案審査
- ▶ 6月14日
○生活路線バスについて

産業観光常任委員会

- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月3日
○今後の進め方について
- ▶ 6月14日
○付託議案審査

教育建設水道常任委員会

- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月3日
○今後の進め方について
- ▶ 6月14日
○付託議案審査

- ▶ 6月23日
○今後の進め方について

議会運営委員会

- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月1日
○平成22年第3回定例会について(陳情等)
- ▶ 6月3日
○平成22年第3回定例会について(会期日程等)
- ▶ 6月17日
○日程追加について

議員全員協議会

- ▶ 4月26日
○議会人事について
- ▶ 5月6日
○5月臨時会提出議案について
- ▶ 5月11日
○日光市街並形成ガイドライン及びサイン計画について
- ▶ 5月19日
○選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙について
- ▶ 6月3日
○6月定例会提出予定議案について
- ▶ 6月17日
○6月定例会追加予定議案について

- ▶ 6月23日
○日光市合併5周年記念事業
市民憲章等制定事業の中間
報告について

議会活性化対策 調査特別委員会

- ▶ 6月23日
○正副委員長の互選

水資源・環境対策 調査特別委員会

- ▶ 6月23日
○正副委員長の互選

市街地活性化対策 調査特別委員会

- ▶ 6月23日
○正副委員長の互選

広報委員会

- ▶ 4月14日
○4月発行議会広報紙について
- ▶ 5月11日
○正副委員長の互選
- ▶ 6月8日
○7月発行議会広報紙について



どんな名目
でもダメ!

「贈らない!・求めない!・
受け取らない!」

政治家の寄附や、有権者が求めることが禁止されています。

病
気
見
舞
い



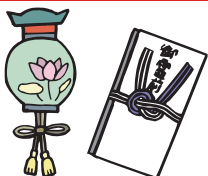
お
祭
り
へ
の
寄
附
や
差
し
入
れ



地
域
の
ス
ポ
ー
ツ
大
会
や
差
し
入
れ



初
盆
の
御
供
物



・
葬
式
の
花
輪
・
供
花



落
成
式
・
開
店
祝
い
の
花
輪



町
内
会
の
集
会
や
旅
行
な
ど
の
催
し
物
へ
の
差
し
入
れ



お
中
元
や
お
歳
暮

